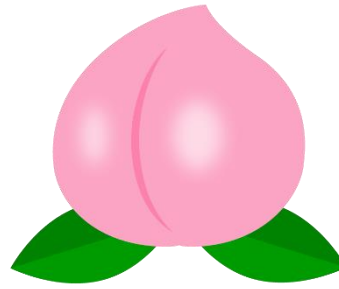


# やすらぎ短信

令和2年  
3月号

## 三月三日 上巳(桃)の節句

■なぜ「桃の節句」というの



三月三日は、五節句の一つである上巳(じょうし)の節句、雛祭の日です。女の子がいるご家庭では、雛人形を飾って、お祝いを致します。この雛祭を「桃の節句」ともいいますが、なぜでしょうか？

この時期、桃の花期だからというだけではなく、桃には邪気を祓う力や長寿をもたらす力があると信じられてきました。イザナギ・イザナミノミコトの神話や桃太郎の昔話でも桃が登場し、邪気を祓う役割をはたしております。桃の節句には、桃花酒といってお酒に桃の花びらを浮

かべて飲む風習もありました。邪気を祓う桃花酒を飲み、季節の節目を無事乗り越えるという意味があったようです。

■雛人形について



雛人形は、元々、日常生活で知らず知らずのうちに犯してしまった罪(つみ)、穢(けが)れを祓うためのものでした。

草木や紙でつくった人形(ひとがた)に罪、穢れを移して、川や海に流して不浄をお祓いしたのがはじまりです。この人形が次第に豪華になり、今のようになり、今のように雛飾りとなりました。雛人形を川へ流すことはなくなり、はなくなり、はなくなり、祈ること」で厄を祓う形へと変化してきました。子ども達が健やかに育ち、幸せにお導き頂けますようにお雛様にお祈り致します。

## 春分の日・お彼岸



春分の日、日本の法律「祝日法」で、「自然をたたえ、生物をいつくしむ」日として定められています。この日は、昼夜の長さがほぼ等しくなる日で、中日(ちゅうにち)といえます。また、この日の前後三日間、計七日間を「彼岸(ひがん)」といい、先祖に感謝を捧げ、供養をする風習があります。宮中でも春季皇霊祭(しゅんきこうれいさい)という歴代天皇の御霊をおまつりする祭典と春季神殿祭(しゅんきしんでんさい)という神恩感謝を捧げる祭典が行われます。古くから日本人がご先祖様への感謝の祈りを大切にしてきた心を子や孫へしっかりと伝えていきましょう。

### 社日祭

社日とは、一年に春秋の二回あり、春分の日、秋分の日それぞれ最も近い戌（つちのえ）の日をさします。日本では古くから、この日に土地の神様・農耕の神様をおまつりする風習があります。春の社日祭では、五穀豊穰と農作業の安全を祈り、秋の社日祭では、作物の生育と収穫への感謝を捧げます。浦幌町内にも社日碑がまつられております。浦幌神社の境内に二基（元帯富・千歳の社日碑）、常室会館横に一基、万年神社の境内に一基、稲穂神社の境内に一基、養老地区に一基がそれぞれおまつりされておられ、春の社日祭が行われております。



浦幌神社境内の社日碑

### 車・オートバイのお祓い

#### 交通安全祈願のご案内

当社では、お車、バイクの入に際し、車両のお祓いと交通安全祈願を行っております。新車、中古車を問わず、お祓いを受け、交通安全の志を高めましょう。大型・特殊車両のお祓いは、ご希望であれば、神主が出張致します。ご予約にて受付けております。



### 第二十一回十勝ふるさとの

#### 芸能フェスティバル

去る二月十六日、音更町文化センターにおいて、標記フェスティバルが開催され、当社の神楽舞月姫会が浦幌開拓獅子舞保存会様より共演のお話を頂き、豊栄舞を披露致しました。このお



祭りは、平成十一年より、十勝ふるさとの芸能振興会に所属する団体の郷土芸能を披露する場として毎年開催され、今年も和太鼓、獅子舞、民謡など十団体が出演し、熱いステージを繰り広げました。

### 浦幌神社行事予定

- 三月一日 月次祭
- 三月十五日 月次祭
- 三月下旬 春季社日祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八